

校長 樽谷 哲郎

ふるさと「田原」を見つめ直す修学旅行 ～首都圏で見聞したことを活かして～

●学校紹介

本校のある田原市は、愛知県の南端に位置する渥美半島のほぼ全域が市域である。三方を海に囲まれ、温暖な気候で自然も豊かであり、農業産出額全国一位を誇る。本校の学区は半島の中央に位置し、太平洋に面している。昭和22(1947)年に赤羽根市立赤羽根中学校として開校した。町制施行を経て、旧渥美郡内の合併にともなう市制施行により、平成15(2003)年に田原市立赤羽根中学校となった。令和3年度に隣接する田原市立泉中学校と統合し、生徒数は200名を超えるが、その後減少していく。校訓「誠実・錬磨・創造」のもと、教育活動に取り組んでいる。



校舎外観

School Data

【創立年】昭和22(1947)年
【教育目標】
「知・徳・体の調和のとれた、心豊かで主体的に活動する生徒の育成を目指す」
○命を大切に、心優しく思いやりのある生徒
○夢や希望、目標をもち、その実現に向けて粘り強く取り組む生徒
○よく考え、自ら学ぶ生徒
○心身ともに健やかで、たくましい生徒
【全校生徒数】135名(8学級 内特別支援2学級)
【教職員数】17名

実施要項

- 旅行先 東京・横浜
- 時期 令和元(2019)年5月8日(水)～5月10日(金)
- 実施学年 第3学年2クラス 生徒43名(内特1名)
- 引率者数 7名
- 日程概要

【1日目】	5月8日(水) 豊橋駅→東京駅→国会議事堂→皇居→警視庁→東京スカイツリー→両国(夕食)→ホテル
【2日目】	5月9日(木) ホテル→舞浜駅→都内班別研修→舞浜駅→東京ディズニーランド→ホテル
【3日目】	5月10日(金) ホテル→学級別見学→中華街(昼食)→新横浜駅→豊橋駅

はじめに

良いところがいくつもある田原市だが、生徒の田原に対する意識やイメージはあまり良くない。良い点は「自然が豊か・人が優しい」ぐらいである。それ以外は「田舎で何もない・つまらん・不便」といったものが多い。都会への憧れも強い。そこで、田原市教育基本計画において、「田原の子は田原で育てる」のスローガンの元、「ふるさと教育の充実」が重要施策になった。田原を見つめ直す、田原の魅力発見、未来の田原を考えるといったねらいで、地域に根ざした総合的な学習の時間が各校で展開されている。

- ①1年生「僕らは社会の助け人」(福祉について学ぶ)
- ・田原福祉専門学校や市内の福祉施設の方による各種講座・市内の福祉施設での実習体験
- ②2年生「僕らは夢追い人・見つめよう将来の自分」(職業について考える)
- ・校区内20数カ所の事業所の協力を得て行う職場体験学習
- ・市内の働く大人に話を聞く講座(夢ワークショップ)
- ③3年生「僕らは未来の街創り人」(田原について考える。ふるさと教育のまとめとして)

●重点を置いた活動

首都圏を見聞し、「田原」と比べることにより、 ふるさと田原を見つめ直す活動

・赤羽根と首都圏：赤羽根と首都圏を比較する修学旅行

・ふるさとの魅力を探る：テーマ学習(田原の魅力と課題、未来に向けて)

- 修学旅行のねらい
- ①見聞を広めるとともに、社会性を高める。
- ②企画力、自主性、計画性を身につける。
- ③仲間づくりをしていくとともに、協力性や協調性を養う。
- ④感動や喜びを味わい、心に残るよい思い出を作る。
- ⑤田原と首都圏の違いをつかみ、田原を見つめ直す機会にする。

事前学習

(1)見学コース決定

班別研修計画

各班で見学地を日Pやガイドブック等で調べ、昼食場所と交通機関を組み合わせた計画を作成した。

- 〈見学地〉明治神宮・神田神社・葛西臨海水族館・豊洲市場・浅草寺・高木神社・太鼓館
- ・日本科学未来館・アニメイト・古代オリエント博物館・熊谷守一美術館
- ・野球博物館・新国立競技場

場・東京体育館

学級別見学コース

学級別見学コースは、旅行社より提供された横浜探索コースから、学級で話し合い選択した。A組は三菱みなとみらい技術館とオービイ横浜、B組はランドマークタワーとカッブヌードルミュージアムのコースを選んだ。

(2)イメージマップ
首都圏と田原の比較をするので、東京と田原のイメージマップを作成し、自分の中で、違いを把握するとともに、比較する意識をもたせた。イメージ通りなのか、3日間の旅行で確かめた。

当日の様子

1日目

〈国会議事堂周辺〉

日本の政治の中核を見ることができた。国会議事堂、皇居、警視庁は近いので移動も便利である。

〈警視庁〉

薬物依存に関するビデオ視聴・通信指令センター見学・資料室見学の3本立てだった。通信指令センターはなかなか見られるものではないので、非常に関心が高く、熱心に見学していた。



警視庁見学

た。ひっきりなしに電話が掛かってくる様子から、事件事故の多さを知るとともに、地元
の平和さを再確認していた。資料室も警察の
歴史や仕事内容など興味深い物が多くあり、
熱心に見学していた。印象に残った生徒が多
く、まとめのレポートでは、43名中17名(デ
イズニールランドと同数)が記述している。
(東京スカイツリー)

エレベーターは季節毎デザインが違い、ど
のエレベーターに乗るか楽しみにしていた。
「展望デッキからの景色は最高。日本一高い
建物からの景色は特別なものがあつた。ガラ
スの床から真下を見た。あまりの迫力と怖さ
に、足が動かなかった。」といった感想をも
った。

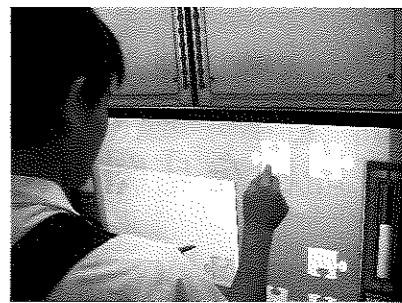
2日目

〈班別分散学習〉

8:30頃に舞浜駅を起
点に班の計画に沿って行
動し、15:30までに東京
デイズニールランド前に集
合した。交通系ICカー
ドを利用する生徒が多
く、切符の買い間違えな
どのトラブルもなく、終
えることができた。移動
する中で、どの生徒も東
京の人の多さを体感して
いた。



班別分散：明治神宮



三菱みなとみらい技術館

技術系の見学場所なので女子はどうかと思
つたが、男女ともに興味深く見学できた。
「様々な展示品があつてとても楽しかった。
宇宙飛行士になりきり仕事をするゲーム等が
あり、今の技術を面白く学ぶことができた。
技術がすごく進歩しているんだなと思つた。」
といった感想をもった。
(オービィー横浜)



マイカップのデザイン中

女子は喜ぶが男子はどうだろうかと思つて
いたが、男子もかなり喜んでた。「普段ふ
れあうことのできない動物とふれあうなど、
珍しい体験をした。『マウンテニア』では
マイナス20℃〜マイナス25℃の環境を体験し
た。様々な貴重な体験ができた。」という感
想が多かつた。

〈マイカップヌードルミュージアム〉

カップヌードル一色である
が、製造工程見学や手作り体験
に満足していた。「マイカップ
ヌードル作り(①カップのデザ
イン②スープと具材選び③持ち
運びケースづくり)」がとても
楽しかった。機械が麺を入れて
いて驚いた。カップ麺の種類
多さに圧倒された。」という感
想がみられた。

事後学習

修学旅行レポート作成

A4サイズにパソコンで作成し、必ず自分

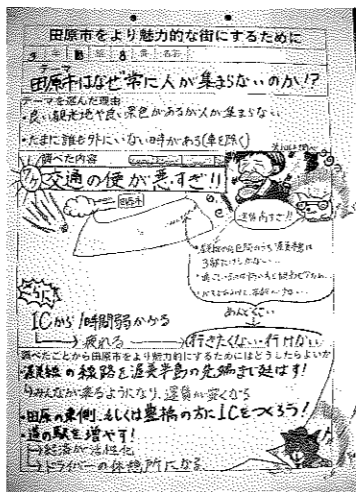
たキーワードが浮かび上がる。
②良さを課題を今後どうしていくかテーマを
設定し、研究し発表した。

〈発表例〉

- ・人口が少ない、移動が不便：交通網の整備
- ・農業が盛ん：農作物のPR、売り込み、後継者不足の解消
- ・景色が良い、祭りや海が魅力的：魅力情報発信、イベント、菜の花ナンバープレート
- ・観光客を増やす：駐車場などの整備、きれいな環境を維持する活動
- ・産業の活性化と経済発展：技術開発、ブランド化

〈発表を聞いた感想〉

・みんないろいろなことを調べていて、小さな市なのに、良いところがいくつもあ
るんだなと思つた。田原市に余裕があれば、今回の発表で出た案を一つでも試し
てみればよいのになと思つた。
・友達は農業などについて調べていた。私
は田原の田舎過ぎるところがとても嫌
で、どこに住んでいられるか聞かれたとき
田原に誇りをもてなかつた。しかし、友
達の発表で、田原市の農業が日本一位と
聞いてとても興味が湧いてきた。また、
意外にたくさん魅力があり、感心した。



テーマ別研究のまとめ

田原のすごさが分かつたので、これから
は自慢したいと思つた。

成果と課題

〈ねらい①から④について〉

◎みんなで楽しく思い出に残る旅行にするた
めにはどうすればいいか、一人一人がよく考
え、ルールを守り時間を意識して行動でき
た。社会性を高める、自主性を身につける、
仲間づくり、協調性、思い出づくり等、修
学旅行の目的をしつかり達成することがで
きた。

〈ねらい⑤について〉

◎魅力ある首都圏と田原との違いを意識する
ことよって、ふるさとの良さを再確認し、
ふるさとの未来に目を向けることができた。
▼事前学習で比較するポイント、視点を絞つ
ておくことで、事後のテーマ別研究をより
深めることができたのではないかと。

おわりに

「田原には田原の魅力が」(生徒会新聞に掲載された3年生の原稿より)
行き交うたくさんの人、高いビル、オシ

たちが撮ってきた写真を入れ、首都圏と田原
の違いについて、記述するようにした。
(首都圏と田原の違いについて、レポートの
生徒の意見)

・東京のいいなと思つたところは、交通機
関が多く、電車がすぐに来たりしてすこ
く便利なお店です。田原のいいところ
は、緑が多いところ。ハウスがあり、
花がたくさん咲いている田原は、やっぱ
りいいなと思つた。修学旅行を通し
て、東京の魅力を見直し、田原の魅力
を再発見できました。
・日本の経済、政治、文化の中心地である
東京はあらゆる面で田原に勝つていま
したが、緑が多くて落ち着ける点では田原
が断然勝つていたなと思つた。自分
的には、田原市のほうが住みやすい町だ
と思つています。

・東京は自然が少なく建物が多くて都会つ
て感じだったけど、田原は建物が少なく
自然が多くて空気がきれいなので、田原
にも東京と違う良さがあるなと思つた。
・田原にいるだけだと感じなかつたけど、
東京に着いて外に出た瞬間、田原の空気
はおいしいんだなと思つた。

田原の魅力を探る…テーマ学習(魅力と課
題、未来に向けて今後の対策を考える)

①田原のよさウエビングマップから、良さと
課題をつかみ研究テーマを決めていった。
農業、観光、自然、交通機関、商業とい

ヤレな店舗。どこを見ても初めてのものば
かりで見とれて過こした修学旅行。竹下通
りで店員さんに尋ねることをすると、笑顔で
ていねいに応対してくれました。
しかし、人とぶつかったときに「すみま
せん」と声をかけても、その人の姿はもう
見えなくなつてしまつたことがありました。こ
のことから田原の良さにも気づくことがで
きました。それは、人と人、地域と地域の
つながりが強いということです。声をかけ
れば必ず言葉を返してくれます。また、地
域の人同士で声をかけ合つて行事をし
たり、地域の安全を守つてくれたりしてい
ます。田原の人の温かさを改めて実感するこ
とができた修学旅行でした。

有名企業、イベント、華やかさ、交通機関
の便利さ等、首都圏には大きな魅力がある。
メディアやSNSからも魅力的な情報が入つ
てくる。どの生徒も、魅力ある憧れの東京へ
行くという中で、修学旅行に対するワクワク
感はとても強く、楽しみにしていた。そし
て3日間を大いに楽しんだ。実際に見聞する
ことで、首都圏の魅力がさらに強く感じた。
一方で、住んでいると気づかないことが、
外に出てみて気づくこともある。首都圏を見
聞することによって、田原の良さを改めて感
じることができた。
大学進学、就職等で市外に行き、そのまま
戻つてこない者はいる。そこで生活しよう
と、自分達で見つけた田原の良さと魅力を忘
れず、愛着をもち続けてほしい。